

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.93

2013.7.5

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

憲法緊急アピール 記者会見発表

6月24日、みなさんには先行してお渡しした「憲法緊急アピール」について、岩手県庁3階の県政記者クラブにて、事務局でアピールの賛同者でもある県生協連加藤善正会長理事、県消団連高橋克公会長、幹事会メンバー9名で記者会見を行いました。

アピールの発表と同時に、96条についての反対も含まれている新しい署名用紙・チラシを使って県民過半数の60万筆をめざし地域の会や団体で活動する取り組みについてもお知らせしました。

憲法問題の関心の高さもあってか記者会見には10社ほどが参加しましたが、記事が掲載されていたのは3紙のみでした。しかし、岩手日報を見たという方からお電話をいただき、ぜひ署名に協力したいとの申し出があり、思いのある方にご協力いただけることになりました。地域の会へつなげ署名を届けてもらうことにしました。

ぜひこのアピールを活用し、新署名への協力をよびかけ、96条の改悪を阻止し、9条をまもる運動を一緒にすすめましょう。



新しいチラシや署名用紙を使って活動中！

松園9条の会 関心は高い！

松園9条の会では毎月15日に街頭宣伝行動を行っています。6月15日には、96条のことを入れた看板を作り、緊急署名だとハンドマイクも使い訴えました。10名が参加し、45分で63筆の署名を集めました。いつもは30~40筆なので1年ぶりに多い署名数で、関心は高いと感じました。96条について知っているかを尋ねると、中身までは詳しく知らないまでも知っているという人が多かったです。また、若者から「9条って何？」という質問も数件受け9条について説明を行ったり、今までの9条署名に協力いただいた方にも新しい署名の趣旨を説明し、署名に応じてもらいました。

また、ニュースを作成し、全会員（世帯数約150、会員数約240人）に署名用紙を送り、5名分集めようと運動を進めています。（松園9条の会 小林絃一）



岩手の会 場所を変えて若者にアピール

岩手の会では、4月から盛岡市大通野村證券前からクロステラス前に場所を移し、街宣署名行動を行っています。近くに専門学校もあり、若者が多く通り、9条について聞いてみると「知らない」との答え。「9条が変わると戦争に自分が行かなきゃならないかもしれないよ。」と言うと、びっくりする女性や俺は大丈夫という男性もいました。まだ憲法を身近に感じていないということもあると思いますが、引き続きクロステラス前で、9条や憲法について訴えていきたいと思えます。

署名も続々岩手の会に集まっています！引き続き取り組みをよろしくお願ひします！

2013年平和憲法を守る県南のつどい 伊藤千尋さん講演会

憲法を使って「活憲」を！

5月23日、朝日新聞記者・伊藤千尋さんの「憲法を生かして、基地も原発もない社会を ―世界からみた日本国憲法―」講演会が憲法行事実行委員会主催で行われ、約250名の市民が、熱心に聴き入りました。

伊藤さんは、記者として世界各地取材して歩いた経験をもとに、憲法をめぐる具体的な事実をあげ、世界から見ると、日本国憲法の価値がますますよく分かること、自民党が中心になって行っている政治が、世界から見ると、いかにおかしな状況かを語りました。

軍隊のない国で有名なコスタリカについて、「日本の次に平和憲法ができた国。憲法ができる前は、国の予算の30%が軍事費だった。『兵士の数だけ教師を作ろう』のスローガンのもと、今は、教育費が30%に。コスタリカは『平和憲法を持っている国の責任・義務は自分の国の平和を維持するだけではなく、周りの国も平和にすること』の哲学の下、平和を輸出している。」

と力を込めて話されました。

また、最後に「反対するだけではだめ、守るだけでもだめ、憲法を活かし広めよう！」と訴えました。

参加者からは「夢ある話に感動」「憲法を日常的に取り入れていきたい」などの感想が寄せられ、伊藤さんのお話が参加者の胸に深く響いた様子が伺えました。

(一関九条の会ニュースより)



コラム 自民党の「日本国憲法改正草案」は、どんな「国」にしようとしているか？ (その5)

6月26日、第183通常国会の閉会にあたり安倍首相が記者会見を行ったと報じられています。その中で憲法改正について「96条先行改正にこだわらず」「国民の理解と平仄を合わせ慎重に議論する」と述べました。これでは「96条改正」にこだわらないなどの印象を与えるのではないのでしょうか。しかしまたその記事の中で改憲について同首相は「現実的な政治課題として現れつつある」と説明したとあり、ここをこそ強調して同首相が「国民世論の隙間を狙って96条先行改正を進めようとしている」と県民のために分析的に報じるべきではないのでしょうか。

報道の問題もさることながら、重要なことは安倍首相をはじめ改憲勢力は、このシリーズで指摘したように「天皇の元首化、国防軍の設置、基本的人権の制限など『戦争をする国』の大日本帝国憲法への「復古」を求めて、そのための「戦術」を議論していることをしっかりとつかむことです。そして9条の会の活動で重要なことは、日本国憲法に照らしてそれを「許さない議論」をすること、その議論を県民の中へ急いで広めることです。日本国憲法に基づく「非武装、中立、平和、民主主義の日本」を県民みんなが求めているはずですが、この「日本」を日常生活の行動でも表明する県民が現実的にも多数になるようにしなければなりません。

(T)

(お詫びと訂正：前号の文中に「天皇主権」となっていたのは「天皇の元首化」の誤りでした。ここにお詫びして訂正します。)

今月の署名行動

今月は、7月9日(火) 12:00~12:30盛岡・クロステラス前(七十七銀行向)で行いますので、是非ご参加ください。日差しが強い事も予想されますので、必要に応じて帽子等の準備もお願いします。